

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 国際社会	民族と国家	渡辺 敦子	2 年次	春

授業のキーワード	冷戦と民族紛争、民族紛争と国際関係、日米関係と日系アメリカ人
授業の概要	①主要な民族紛争の生成と展開、それが国際社会に与える影響を学びます。 ②日系アメリカ人史を手掛かりに、多民族国家が抱える問題と日米間に横たわる摩擦への理解を深めます。
期待される学習成果（目標）	①主要な民族問題の起源と展開、国際政治に及ぼす影響を学ぶため、国際ニュースを理解できるようになります。 ②多民族国家アメリカに対する理解が深まり、日米関係を考える際の基礎知識になります。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	講義の目的、評価方法、参考文献紹介。	第9講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国①	アメリカ合衆国における国民統合理念の変遷を追います。
第2講	ナショナリズムと国民国家	近代国際関係の主体である「国民国家」とは何でしょうか？	第10講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国②	アフリカ系アメリカ人と公民権運動、アファーマティブアクション
第3講	国民国家の形成—フランスとドイツ	二つの国民統合モデルを比較します。	第11講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国③	日米関係の狭間に生きる日系アメリカ人 1: 移住から太平洋戦争勃発
第4講	ユーゴスラヴィアの解体	ユーゴ国民のアイデンティティの変遷、解体に伴う紛争が国際政治に及ぼす影響を考察します。	第12講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国④	日米関係の狭間に生きる日系アメリカ人 2: 強制収容、二世のアイデンティティ
第5講	パレスチナ問題と中東戦争①	パレスチナ問題と中東戦争の歴史を、国際政治に及ぼす影響にも言及しながら解説します。	第13講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国⑤	日米関係の狭間に生きる日系アメリカ人 3: 日米貿易摩擦、強制収容の補償運動
第6講	パレスチナ問題と中東戦争②	中東平和に関する時事問題(イスラム国など)を考察します。	第14講	多民族国家と国民統合—アメリカ合衆国⑥	真珠湾攻撃と原爆に対する日米の認識を比較考察します。
第7講	東アジアの国際関係と民族問題	中国と台湾、韓国と北朝鮮を取り上げ、分裂経緯、対立が国際政治に与える影響を考えます。	第15講	全体のまとめ	講義内容を踏まえ、アジア諸国との戦後補償問題やヘイトスピーチなど、日本が直面する問題を考察します。
第8講	南アジアの国際関係と民族問題	インドとパキスタンの対立を取り上げ、紛争の原因、国際政治に与える影響を考察します。	定期試験		レポート提出及び全体のまとめ
評価方法		レポート7割、講義後に感想、質問などを書いて提出する用紙3割。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
特に指定しません。毎回レジュメを配布します。			大澤真幸・姜尚中編『ナショナリズム論・入門』（有斐閣アルマ、2009年） 塩川伸明『民族とネイション—ナショナリズムという難問』（岩波新書、2008年） 田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』（有斐閣ブックス、2010年）		